

# 校内研修の取り組み (前期)

県立ろう学校

# 1.はじめに

## 校内研修のアイデア

- ・**教科部会**や**研修講座**等、幼小中高の教員がともに学ぶ機会を生かし、教科ごとや各学部でのICT活用について情報共有を図る。
- ・**オープン参観**で実際にどのような活用をしているのか授業参観することでICT活用のイメージをつかんだり、指導方法の引き出しを増やしたりする。
- ・**部研究**の授業研究では、単元や授業の計画の中にICT活用の視点も取り入れ協議する。
- ・**若プロ研修会**において、ICT活用をテーマにした研修を設定し、少人数での協議や実技を通してICT活用力を高める。

これまで行ってきている研修にICT活用の視点を盛り込む

研修課・教務課・情報教育課・若プロ推進委とも連携

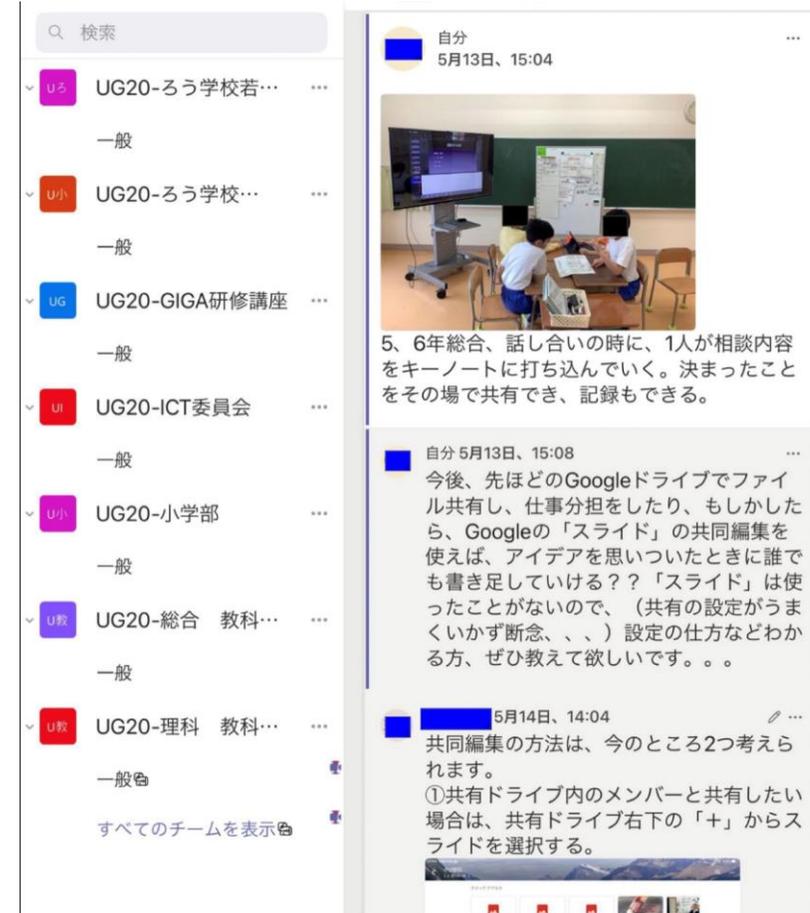
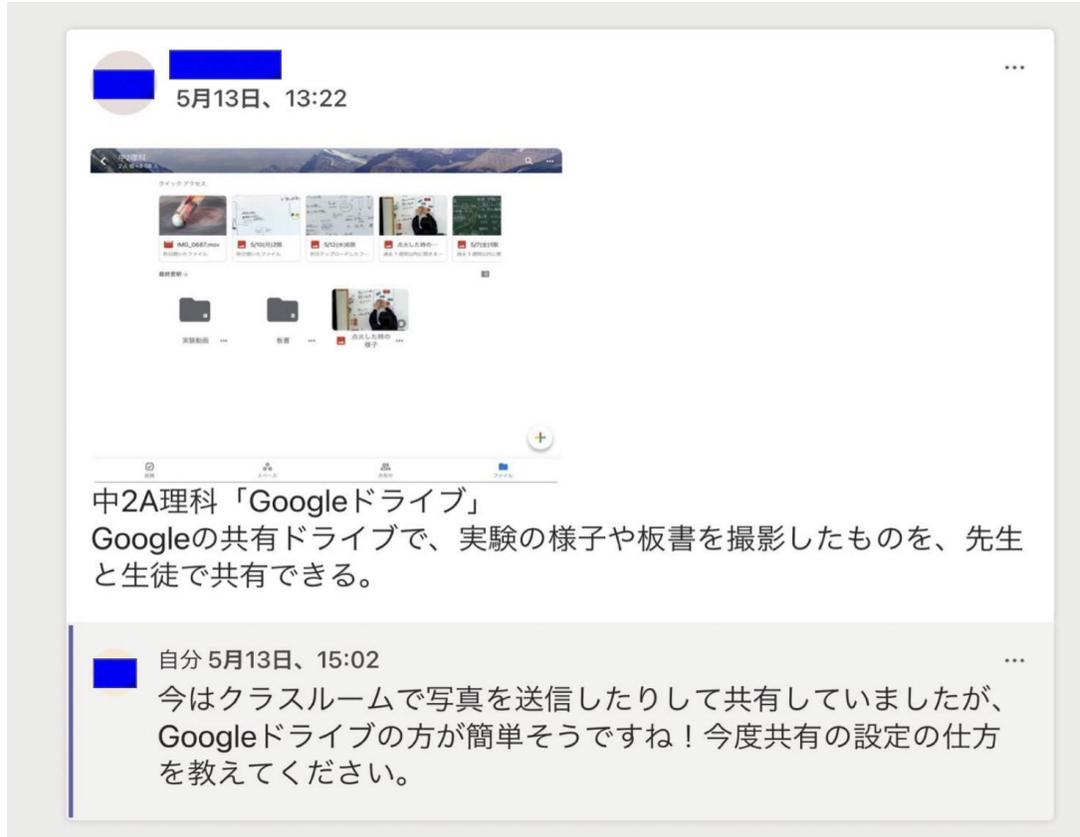
## 2. 取り組み例 ○ 教科部会

教務課と連携

年間3回、各教科・領域のグループ  
幼小は自身の授業担当で入るグループを選択  
中高は自分の教科のグループに所属

- ・4月当初、各教科部会のチーム（OfficeのTeams活用）を作成
- ・連絡や指導案検討だけでなく、日々の実践、特にICTを活用した授業について写真や概要を載せてもらうよう周知
- ・8月は、文部科学省のHPに上がっている各教科でのICT端末の活用動画の視聴を校内サイトにて促した。（GIGAスクールライブラリー悉皆研修ステージ3のもの）

# ○ 教科部会



😊・教科特有の使い方やアプリの活用法を知る

😞・他の教科部会の事例が見られない

・アップする人が偏りがち

## 2. 取り組み例

### ○ オープン参観

### 研修課と連携

年間3回、2週間ほど、自由に校内の先生方の授業を参観する

※1回の期間に一人2コマは必ず参観する

※同じ教科部会のメンバーの授業は少なくとも1コマは参観する

- ・今年度は「感想用紙」の視点の一つに「ICT活用について」の項目を入れ、ICT活用に関する視点での授業参観を促す
- ・各部のICT活用推進委員に、参観の際にできるだけ授業の中でICT端末をどのように活用できそうか、等の視点で参観シートを記入するように事前に連絡

# ○ オープン参観

## 「ICT活用について」の視点での感想

オープン参観 感想用紙 参観した日 6月19日(金) 授業者 [ ]  
 学部 ( 幼・小・中・高 ) 教科等 ( 社会 ) 参観者 [ ]

	授業参観の視点	参観時に見た項目にチェックしてください
1	話し方、 視線の集め方 (例) 子どもを見て話す。ゆっくりと話す。 手話を付けて話す。実態や課題に即した言葉や構文で話す。	とてもいいですね、ほきりとした話し方でした。(手話も)
2	視覚支援 (例) 板書が工夫されている。教室の掲示が整っている。 <u>ICT 機器を活用している。</u>	
3	授業の展開 (例) 初めの本時の流れを示す。学習課題が明確である。考えたことを手話や絵、言葉で表現するよう促す。終末部で理解度を確認する。← 途中で出たの...)	課題が明確で、生徒も見通しを持って調べ物ができていました。
4	教材の工夫 (例) 児童の興味関心を引きつける教材を使う。生活に結びつく視点をもつ。	途中 [ ] さん、韓国スポーツと脱線(?) したかと、思いますが、課題が明確なの

チェックした項目について、具体的に感想や意見を書いてください (授業者にお返しします)。で、すぐに軌道  
 自分で好きな国を選択できることで、主体的に (調べたい)  
 課題に取りくめると思われました。(実際そうでした)  
 イギリスの有名な場所の画像のとき、こんなのが →  ← この画像全体ならロンドン、この時計ならビッグベンですか、どちらの名前も、 [ ] くんが

オープン参観 感想用紙 参観した日 6月17日(木) 授業者 [ ]  
 学部 ( 幼・小・中・高 ) 教科等 ( 理科 ) 参観者 [ ]

	授業参観の視点	参観時に見た項目にチェックしてください
1	話し方、 視線の集め方 (例) 子どもを見て話す。ゆっくりと話す。 手話を付けて話す。実態や課題に即した言葉や構文で話す。	
2	視覚支援 (例) 板書が工夫されている。教室の掲示が整っている。 ICT 機器を活用している。	✓
3	授業の展開 (例) 初めの本時の流れを示す。学習課題が明確である。考えたことを手話や絵、言葉で表現するよう促す。終末部で理解度を確認する。	✓
4	教材の工夫 (例) 児童の興味関心を引きつける教材を使う。生活に結びつく視点をもつ。	

チェックした項目について、具体的に感想や意見を書いてください (授業者にお返しします)。  
 学習の課題と、それを達成するための手立てが明確です。板書が整理されていて見やすい。生徒の実態に応じて、iPadでワークシートを記入させており、意欲を伸ばしていると思われました。ワークシートで、小テストやワークシートを共有しており、大変参考にようになりました。(うらやまは、磁石につく部分とかの部分が、あと定義とかは難しいところですね)

(裏にも書かれた)  
 H君に円グラフを添えてお返させているのも良かったと思っております。

・実践例の引き出しが増える ・子どもの反応も見られる

# ○ オープン参観 「ICT活用について」の視点での感想

オープン参観 感想用紙 参観した日 6月19日(金) 授業者 [redacted]  
学部(幼・小・中・高) 教科等(社会) 参観者 [redacted]

	授業参観の視点	参観時に見た項目に チェックしてください
1	話し方、(例)子どもを見て話す。ゆっくりと話す。 視線の集め方 手話を付けて話す。実態や課題に即した言葉や構文で話す。	とても... ... (手話も)
2	視覚支援 (例) 板書が工夫されている。教室の掲示が整っている。 <u>ICT機器を活用している。</u>	
3	授業の展開 (例) 初めの本時の流れを示す。学習課題が明確である。 考えたことを手話や絵、言葉で表現するよう促す。 終末部で理解度を確認する。← とやで出たので...	課題が明確で、生徒も見通しを持って調べ物ができていました。 (途中 [redacted] さん)
4	教材の工夫 (例) 児童の興味関心を引きつける教材を使う。	

現在は「視覚支援」の項目にICT機器を活用している

次回からは、「ICT端末の活用」項目を新設し、  
「一人一台端末の利活用について」と明確に記す

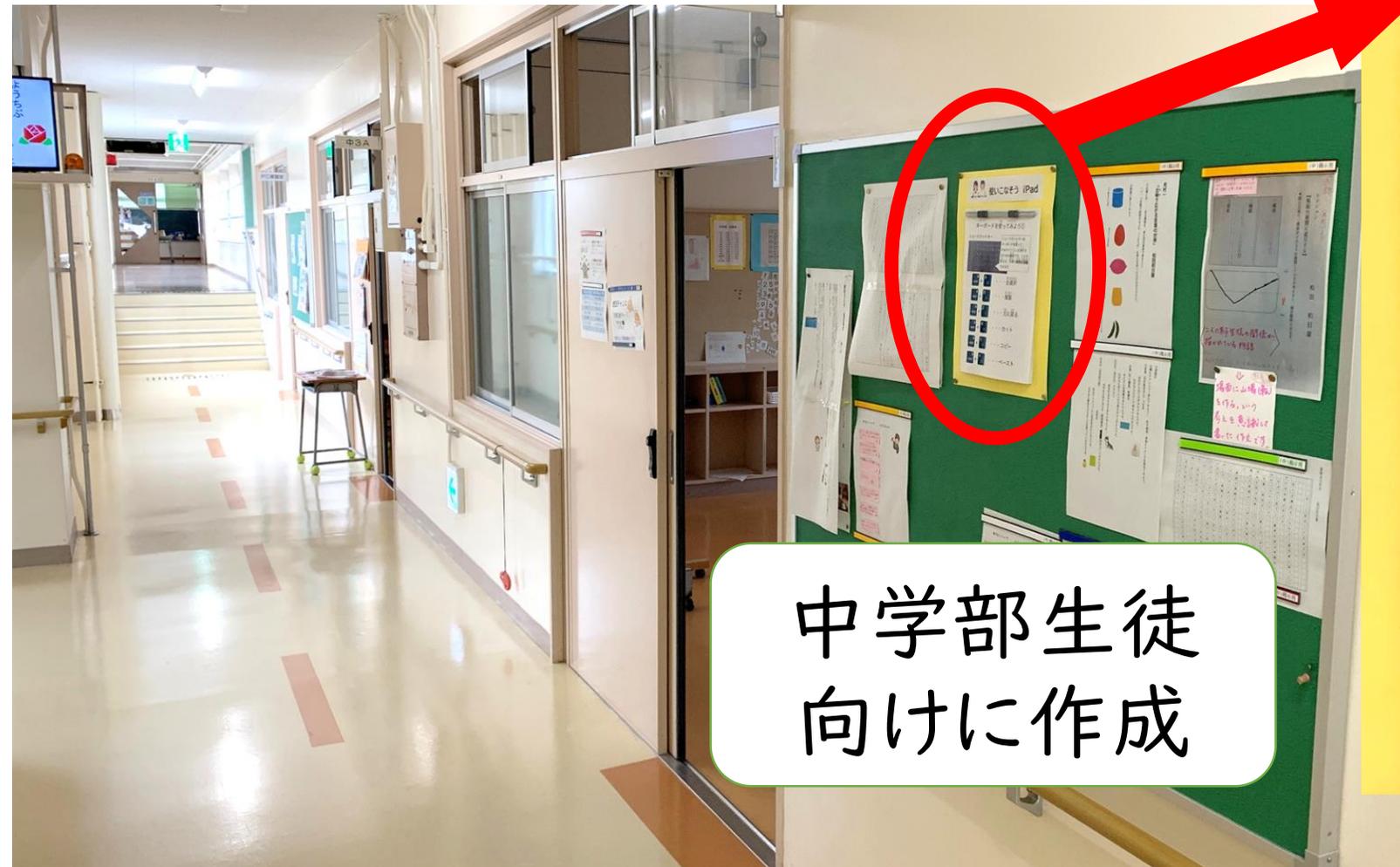
<授業の中で一人1台端末をどのように生かしているか、生かせるか>

参観や助言のポイントとして意識

## 2. 取り組み例

### ○ 校内掲示

校内推進サブリーダーが不定期発行



 使いこなそう iPad

キーボードを使ってみよう①

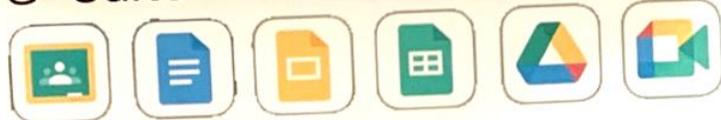
ショートカットキー

ショートカットキーは、キーボードを使って、iPadやパソコンを操作するための機能です。これを使えば、作業の時間を短縮できます。

cmd + A	ぜんぜんたくち	・・・全選択
cmd + D	ふくせい	・・・複製
cmd + Z	もと もど	・・・元に戻る
cmd + X	さ	・・・カット
cmd + C	そ	・・・コピー
cmd + V	ひ	・・・ペースト

7

# 「G Suite for Education」とは？



せんせい せいと きょうどうりよう  
先生と生徒が、共同利用できるツールです。

(例) Googleドライブ



しゃしん どうが  
写真、動画、ファイルなどをクラウドに  
ほぞん きょうゆう  
保存、共有ができます。



じぶんの アイディー  
自分の ID とパスワードがあれば、  
学校でアップロードしたデータを  
家で見るすることができます！

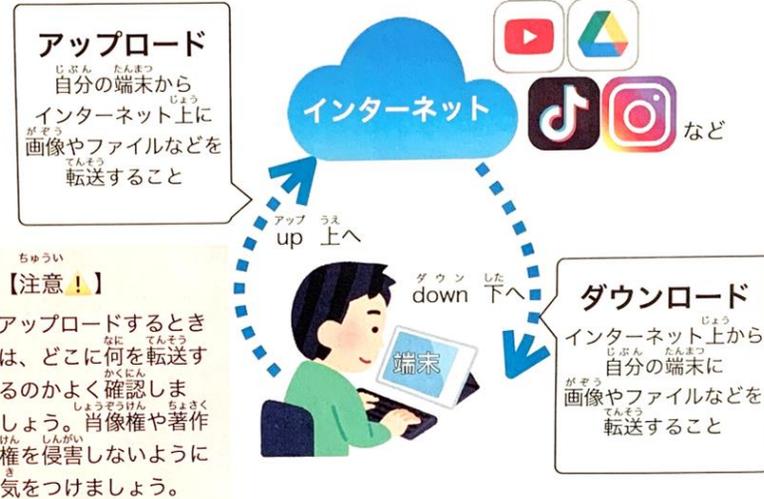
せんせい きょうゆう  
先生が共有ドライブにアップロードした  
授業の資料やプリントを  
ダウンロードすることができます！

まずは、  
ログインしてみましょう。

ちゅうい  
【注意！】パスワードはとても大切  
なものです。どんな相手にも、絶対に  
教えてはいけません。



# 「アップロード」と「ダウンロード」



ちゅうい  
【注意！】  
アップロードするときは、どこに何を転送するのかよく確認しましょう。肖像権や著作権を侵害しないように気をつけましょう。

アップロードする方法 ほうほう  
↑ (共有ボタン) をタップ



「書き出し」すると  
ファイル形式を変えられる

# ドック つか かた Dockの使い方①



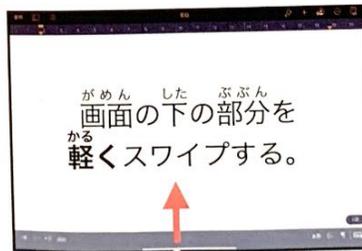
**ドック Dock**  
・すぐにアプリを切り替えられます。  
・2つのアプリを分割して同時に表示できます。



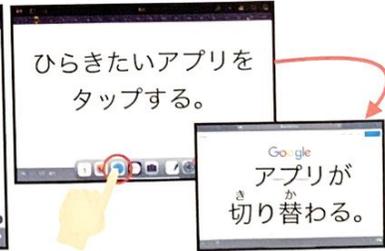
つね ひょうじ  
常に表示されるアプリ

さいきんしやう  
最近使用したアプリ

## アプリを切り替える方法



がめん した ぶぶん  
画面の下の部分を  
軽くスワイプする。



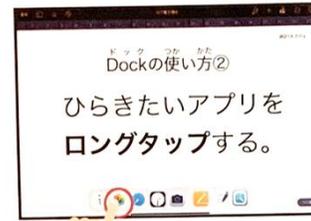
ひらきたいアプリを  
タップする。

Google  
アプリが  
切り替わる。

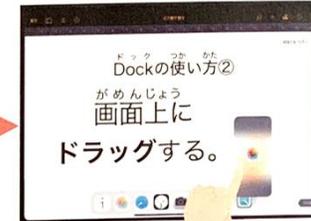
ドックの「常に表示されるアプリ」に  
自分がよく使うアプリをいれておけば  
とても便利です。

# ドック つか かた Dockの使い方②

## 2つのアプリを分割して同時に表示する方法



ひらきたいアプリを  
ロングタップする。

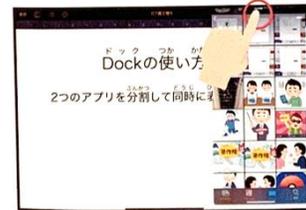


がめんじやう  
画面上に  
ドラッグする。

がめんじやう  
画面上に  
ドロップすると

スライド オーバー  
Slide Over

がめん へし  
画面の端に  
ドロップ  
すると



じやうぶ  
上部のバーをスライドすると  
画面を移動できる

2つのアプリを  
同時に使用できるので  
便利です。



スプリット ビュー  
Split View



ちゆうおう  
中央のバーをスライドすると  
画面分割比を変更できる

# ○ 校内掲示



使いこなそう iPad



キーボードを使ってみよう①

ショートカットキー



ショートカットキーは、キーボードを使って、iPadやパソコンを操作するための機能です。これを使えば、作業の時間を短縮できます。



cmd + A ち . . . ぜんせんたく  
全選択



cmd + D し . . . ふくせい  
複製



cmd + Z っ . . . もと もど  
元に戻る



cmd + X さ . . . カット

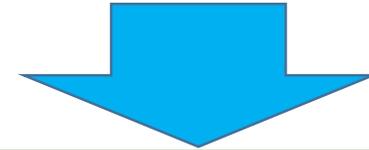


cmd + C そ . . . コピー



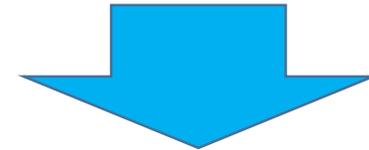
cmd + V ひ . . . ペースト

中学部生徒向けに作成



教員にも参考になる!

今後は...



校内サイトに  
「ICT活用通信」  
特設!!

## 2. 取り組み例      ○ GIGA出前サポート 研修会（7月27日）

演題：「一人1台端末時代のiPadの使い方」

講師：県教員総合研修センターGIGAスクールサポート課  
河内大介担当課長  
教育相談課 岩沼見奈指導主事

- ・Googleクラスルームを使って、共同編集の仕方などの演習
- ・先進校の事例紹介
- ・対話的で深い学びとICT活用についての講義

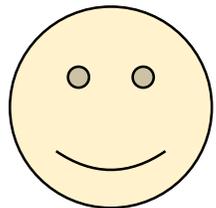
## 参加した教員から



「演習で実際にICT端末を触りながら行うことでよく理解できた。」



「実際に操作しながら行う研修を今後も繰り返しできる機会があるとよい。」



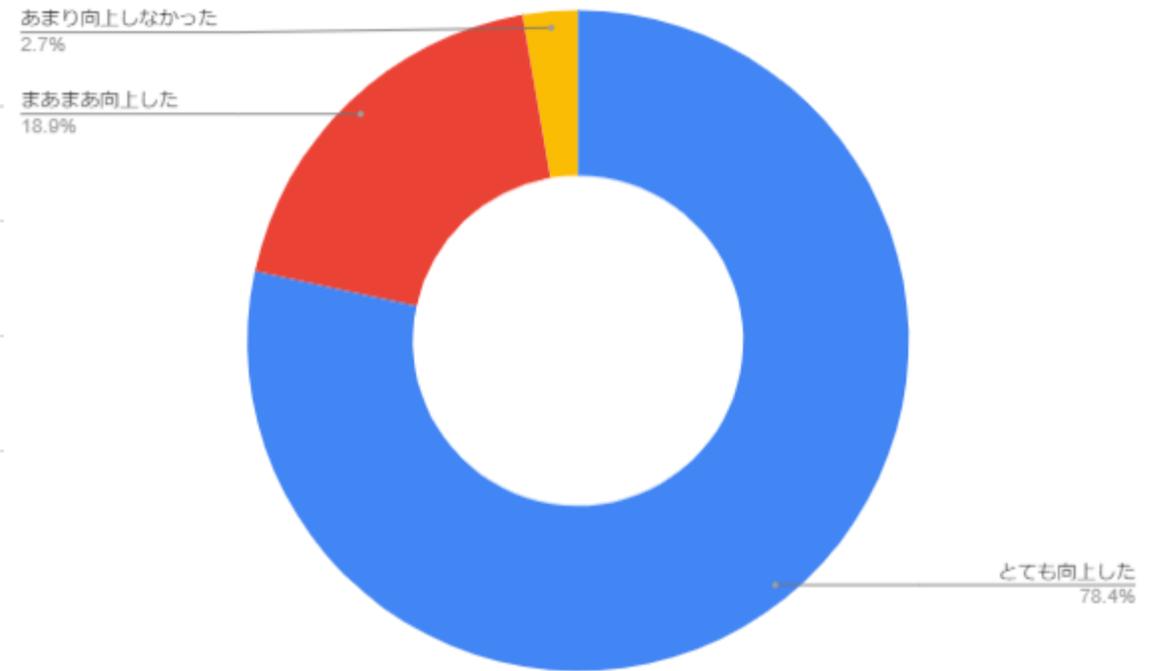
「対話は友達や教師など他の人とだけするものではなく、自己との対話も含まれるとのお話で、対話的な学びについて確認できたのがよかった。」

### 3 これまでのまとめ

## ICT活用のアンケート結果（8月実施）

Q. 部研究や教科部会、研修講座やオープン参観等の機会を通じて、自身のICT活用力は向上しましたか？

とても向上した	29	約97%
まあまあ向上した	7	
あまり向上しなかった	1	
ぜんぜん向上しなかった	0	



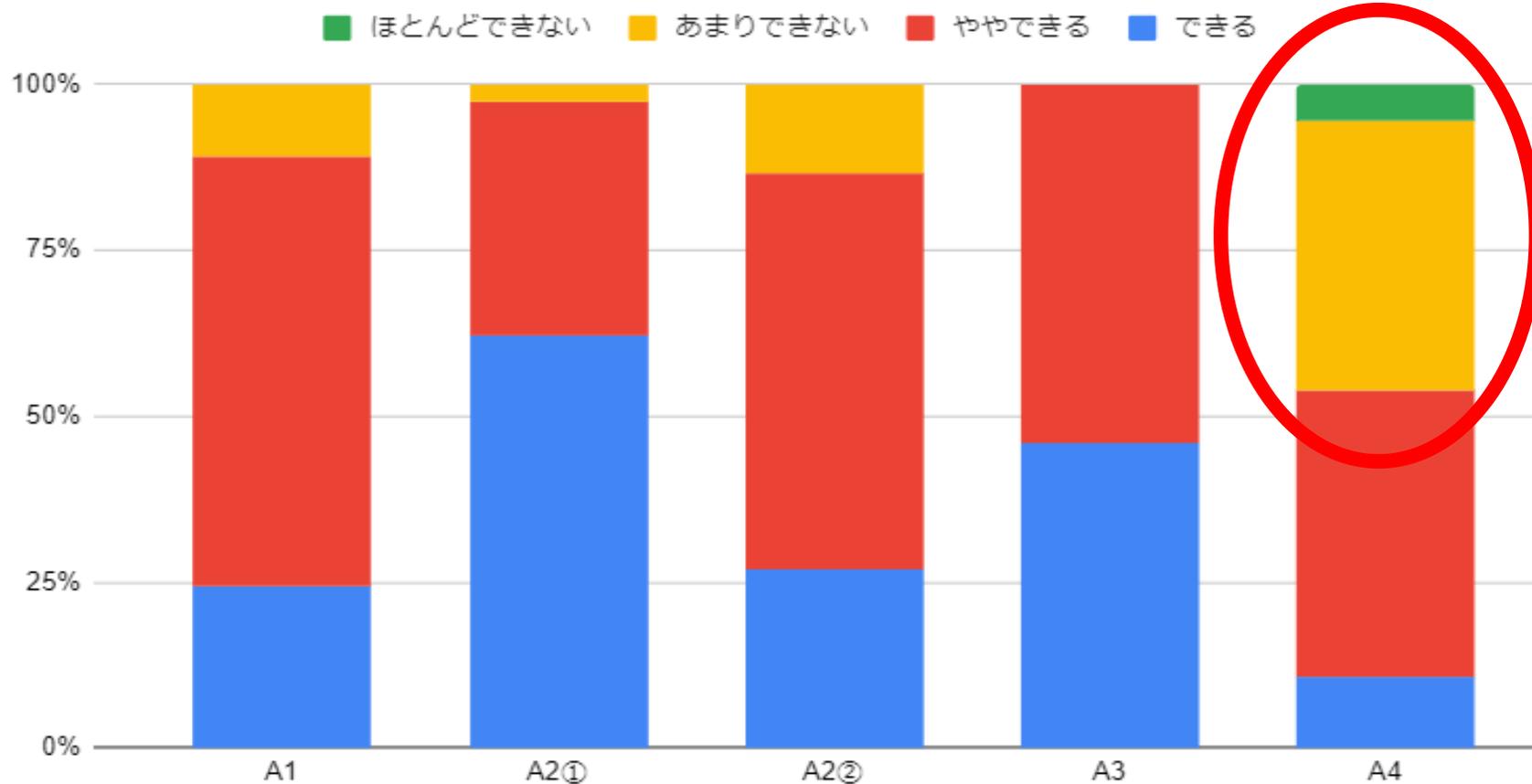
4月からの取り組みでICT活用力が高まったと感じている教員がほとんど

### 3 これまでのまとめ

## ICT活用のアンケート結果（8月実施）

一方、、、

A教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力



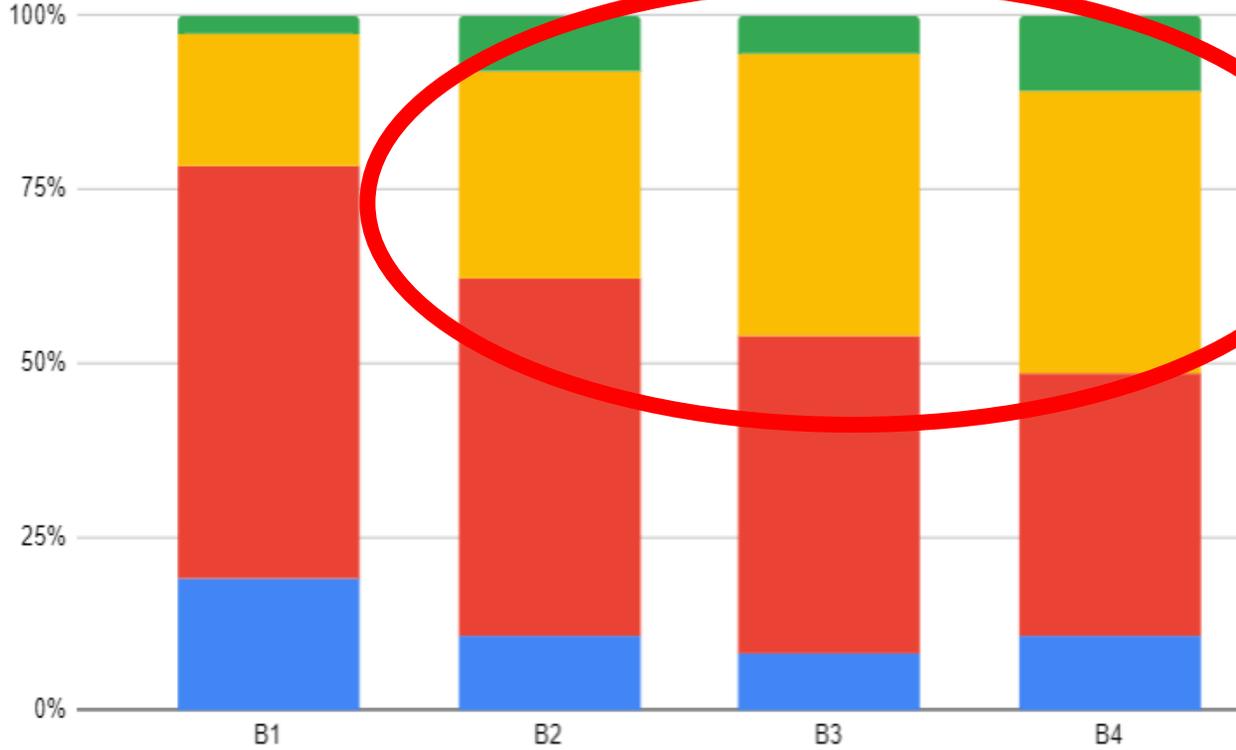
「A-4 学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し、評価に活用する。」

### 3 これまでのまとめ

## ICT活用のアンケート結果（8月実施）

B授業にICTを活用して指導する能力

■ ほとんどできない ■ あまりできない ■ ややできる ■ できる



「B-2 児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。」

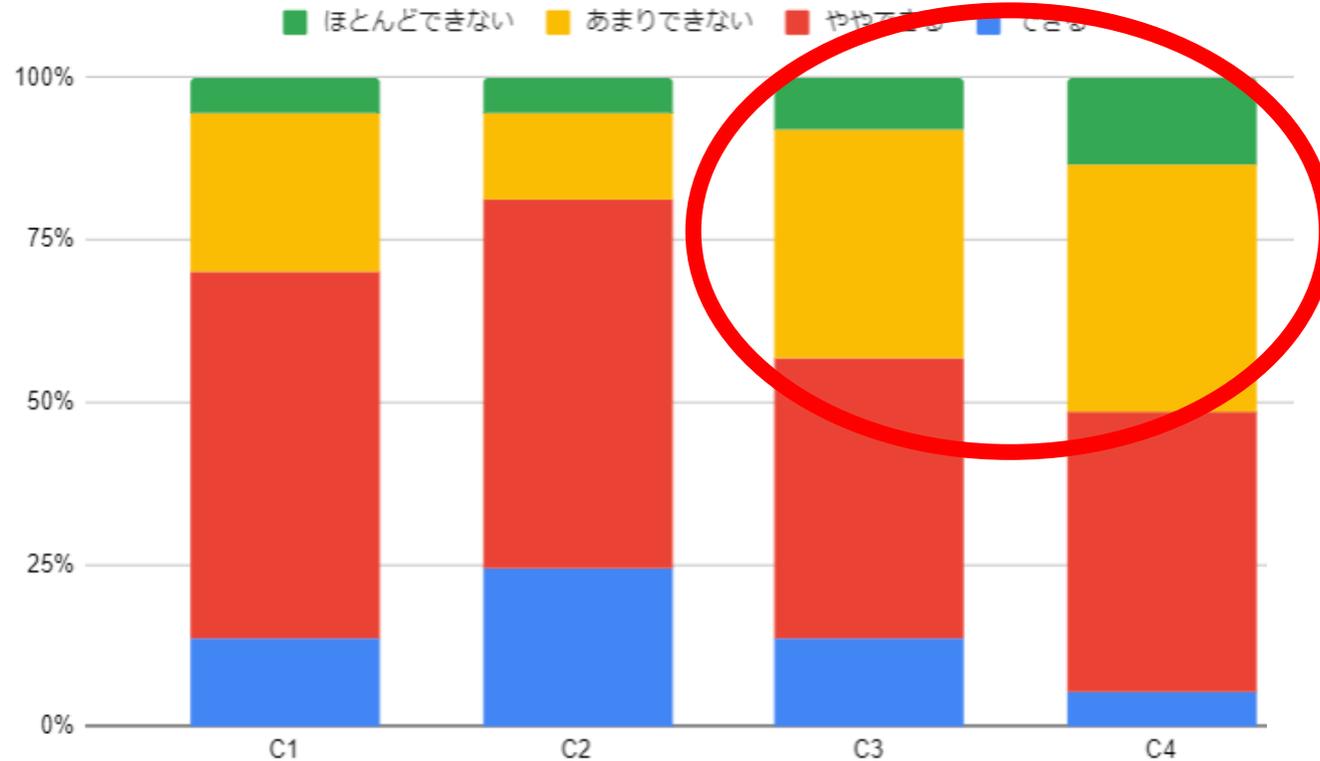
「B-3 知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませる。」

「B-4 グループで話し合って考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。」

### 3 これまでのまとめ

## ICT活用のアンケート結果（8月実施）

C児童生徒のICT活用を指導する能力



「C-3 児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。」

「C-4 児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。」

A-4 ⇒ 「ドライブ」の活用

B-2~4 ⇒ 「Jamboard」や「ロイロノート」の活用  
「共同編集」の活用

C-3, 4 ⇒ ICT 端末に入っているアプリケーション  
の利活用  
(文書作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンソフト)

後期はこれらの内容を取り入れた研修の計画・実施